

あぶしん景況レポート

2020年10～12月期



あぶくま信用金庫
総合企画部

Vol.2 2021.1 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

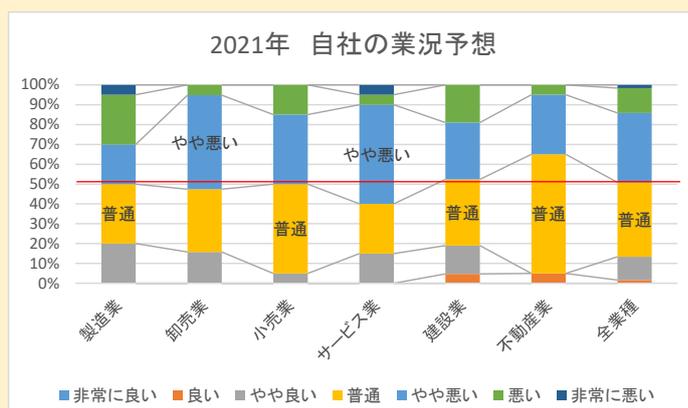
調査対象: 120社

業種別	総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービ 業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
2020年 7～9月								▲ 30.8
2020年 10～12月								▲ 20.8
2021年 1～3月 (見通し)								▲ 27.5

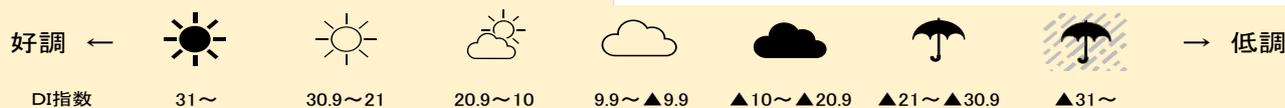
- 2020年10～12月期(今期)の業況判断D.I.は▲20.8と、前期比10.0ポイントの改善となった。
- 2021年1月～3月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲27.5と、今期より悪化を見込んでいる。業種別にみると、製造業の来期予想D.I.は▲10.0と今期より若干改善する見込みだが、建設業は今期実績比28.5ポイントの悪化、サービス業は今期実績比15.0ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 2021年(令和3年)の経営見通し -

- 2021年の自社の業況予想について、全業種で「普通」と回答する割合が最も高くなった。業種別では、不動産業の6割が「普通」と回答する一方、卸売業とサービス業は「やや悪い」の割合が高く、業況回復には時間がかかるとみられる。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。
あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	10.0	25.0	35.0	25.0	▲ 45.0
	実績	0.0	20.0	30.0	25.0	25.0	▲ 30.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	40.0	10.0	25.0	▲ 10.0

業況判断 D.I. は今期(実績) ▲30.0 となり、今期(予想) を 15 ポイント上回った。経営課題として、「人手不足」を上げる割合が増えており、全国的にも同じ傾向が見られた。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	55.0%	55.0%
2 人手不足	30.0%	15.0%
3 利幅の縮小	25.0%	25.0%
3 人件費の増加	25.0%	20.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	65.0%	70.0%
2 経費を節減する	35.0%	50.0%
2 人材を確保する	35.0%	30.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：19社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	26.3	31.6	21.1	21.1	▲ 15.8
	実績	5.3	10.5	31.6	42.1	10.5	▲ 36.8
来期 (1-3月)	予想	0.0	10.5	42.1	31.6	15.8	▲ 36.8

業況判断 D.I. は今期(実績) ▲36.8、来期も ▲36.8 となった。前期調査で「普通」と回答した企業が、売上の停滞・減少により「悪い」と回答する割合が増えたことにより、予想より大きく悪化となった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	47.4%	63.2%
2 利幅の縮小	26.3%	42.1%
2 同業者間の競争の激化	26.3%	31.6%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	57.9%	73.7%
2 経費を節減する	42.1%	63.2%
2 情報力を強化する	42.1%	36.8%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	40.0	40.0	5.0	▲ 30.0
	実績	10.0	10.0	50.0	25.0	5.0	▲ 10.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	30.0	40.0	5.0	▲ 20.0

業況判断 D.I. は今期 ▲10.0、来期 ▲20.0 となり、今期 D.I. は予想より 20 ポイント上回った。コロナウイルスの影響により、売上高は販売品目によって二極化している。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	60.0%
2 人手不足	40.0%	35.0%
3 同業者間の競争の激化	20.0%	25.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	45.0%	45.0%
2 人材を確保する	40.0%	35.0%
3 宣伝・広告を強化する	20.0%	30.0%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	10.0	20.0	45.0	20.0	▲ 50.0
	実績	5.0	10.0	40.0	25.0	20.0	▲ 30.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	0.0	55.0	25.0	20.0	▲ 45.0

業況判断 D. I. は今期▲30.0、来期▲45.0となった。前期より改善したものの、来期以降の見通しが「良い」と回答した企業はなく、売上の停滞・減少による危機感を相当抱いているとみられる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	40.0%	55.0%
1 人件費の増加	40.0%	30.0%
2 人手不足	30.0%	15.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	45.0%	45.0%
1 経費を節減する	45.0%	45.0%
2 宣伝・広告を強化する	30.0%	40.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	14.3	47.6	33.3	4.8	▲ 23.8
	実績	0.0	19.1	57.1	19.1	4.8	▲ 4.8
来期 (1-3月)	予想	0.0	9.5	47.6	33.3	9.5	▲ 33.3

業況判断 D. I. は今期▲4.8となり、前期より5ポイント上回ったが、来期は▲33.3と全体的に厳しく見ている企業が多い。前期同様、人手不足・人材確保が共通の課題となっている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 人手不足	57.1%	61.9%
2 同業者間の競争の激化	33.3%	14.3%
2 下請けの確保難	33.3%	23.8%
- 売上の停滞・減少	28.6%	33.3%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 人材を確保する	66.7%	71.4%
2 技術力を高める	38.1%	42.9%
2 販路を広げる	38.1%	23.8%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	5.0	60.0	30.0	0.0	▲ 20.0
	実績	5.0	10.0	55.0	30.0	0.0	▲ 15.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	10.0	60.0	25.0	5.0	▲ 20.0

業況判断 D. I. は今期▲15.0、来期▲20.0となった。重点経営施策については、前回比率の高かった「人材を確保する」の割合が低くなり、「情報力を強化する」の割合が高まった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	30.0%	35.0%
2 同業者間の競争の激化	25.0%	20.0%
3 利幅の縮小	15.0%	15.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	35.0%	15.0%
1 情報力を強化する	35.0%	10.0%
2 新しい事業を始める	25.0%	5.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

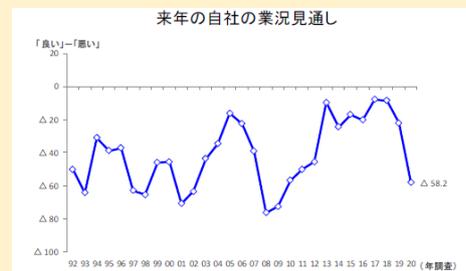
回答社数: 13,941社

		総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
全 国	2020年 7～9月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 48.3
	2020年 10～12月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 36.2
	2021年 1～3月 (見通し)	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	▲ 41.9
東 北	2020年 10～12月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 39.3

- 全国の2020年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲36.2と、前期比12.1ポイントの改善となった。2021年1月～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲41.9と今期実績比5.7ポイントの悪化を見込んでいる。
- 東北地区の2020年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲39.3と、前期から12.2ポイントの改善となった。2021年1月～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲49.9と今期実績比10.6ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 2021年（令和3年）の経営見通し -

- 2021年の自社の業況見通しについては、「良い」回答した割合が6.5%、「悪い」と回答した割合が64.7%となり、「良い」－「悪い」は▲58.2となった。1年前の調査と比べて36.0ポイント悪化し、過去2番目の悪化幅となった。
- 従業員規模別では、規模が大きいほど強気の傾向が見られた。業種別では、小売業や卸売業で慎重な見通しが目立った。



全国の調査員からのコメント

- マスクやフェイスシールドの需要が増え、昨年より増収が見込める。（印刷、近畿地区）
- コロナ禍の長期化により、負のスパイラルからなかなか抜け出せない状況。（乳製品卸売、東北地区）
- 受注は好調を維持している。課題であった人材確保についても、コロナの影響で応募があり、幹部候補や現場作業員を採用できた。（水産加工卸、東海地区）

【調査要領】

1. 調査時期 2020年12月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性及び完全性を保証するものではありません。